

蓮尾 英明 氏の学位審査結果の要旨

主査：岡崎 和一

副査：伊藤 誠二、日下 博文

疼痛の感じ方には個人差があるが、我慢できる疼痛が消化管運動とくに胃運動に及ぼすかどうかは不明である。申請者らは、健常人を対象に腹部超音波検査を用いて疼痛の有無による胃運動の変化を検討した結果、我慢できる疼痛は、非疼痛と比べて胃底部拡張能、前庭部運動能、胃排出能のいずれもが有意に低下することを明らかにした。胃運動は食事摂取行動に関連する因子として重要であり、今後疼痛を我慢する患者への疼痛マネジメント教育においても、本研究結果は有用な基礎的情報をもたらすと思われ、学位に値すると思われる。